

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年11月6日～11月10日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
11月6日	サブドレン増設集水タンクの設置状況の確認	4m盤	<p>○4m盤の北側及び南側に2基ずつ増設しているサブドレン集水タンクについて、進捗状況を確認した。</p> <p>北側及び南側とも堰内外の壁面の塗装は完了していたものの、配管は敷設中であり、雨水侵入対策用の堰カバーは設置されていなかった。現場作業員によると、11月末までに配管の敷設作業が完了するとのことであった。作業はトラブルなく、行われていることを確認した。</p>	11時36分現在
11月7日	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備、バルブユニット	<p>○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会い、水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。</p>	12時03分現在
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	<p>○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。</p>	
	サブドレン増設サンプルタンクの設置状況確認	サブドレン増設サンプルタンク	<p>○増設工事中のサブドレン増設サンプルタンクの進捗状況について、現場確認した。</p> <p>雨水侵入対策用の堰カバーは設置されていなかったが、堰内の防水塗装及び処理水移送配管の敷設はほぼ完了していた。供用開始に向けて作業が進んでいることを確認した。</p>	
11月8日	ガレキー一時保管エリアJの状況確認	ガレキー一時保管エリアJ	<p>○ガレキー一時保管エリアJの現況について、現場確認した。</p> <p>ガレキー一時保管エリアJは管理型産業廃棄物処分場の上に設置されており、金属製のコンテナが3段積みで保管されていた。保管物は、エリア入口の表示では瓦礫類、コンテナの手書き表示では雑可燃物、フレコン、エフレックスホース等と書かれていた。</p> <p>エリア南側の通路には、フレコンバッグ1袋が残置されていたことから、適切に対応するよう東京電力に依頼した。その後、東京電力の提供資料により、中身はコンテナ設置時に使用する木片であり、撤去されたことを確認した。</p>	11時16分現在
	C東タンクエリア内堰からの雨水漏えい箇所の補修状況確認	C東タンクエリア	<p>○10月24日に発生したC東タンクエリア内堰からの雨水漏えいについて、10月25日に現場確認したところ、作業員より今後改めて止水材の吹き付けを行う旨話があったことから、その後の状況を確認した。</p> <p>現場確認したところ、漏えい箇所であった内堰には止水材が吹き付けられていた。また、再発防止対策として、漏えいが発生した内堰以外の内堰の継ぎ目部や外堰の一部にも止水材が吹き付けられていることを確認した。</p>	
	構内に搬入された自動運転EVの状況確認	入退域管理棟東側構内駐車場	<p>○11月8日、構内への自動運転EVバス導入検討にあたってのテスト走行のために、自動運転EVバスが搬入されたことから、搬入されたバスの状況を確認した。</p> <p>搬入された車両は、フランスNAVYA社製の「ARMA」で2台とも同じ型式の車両であった。今回のテスト走行の担当者によると、午前中にGPSの調整を行い、午後から実際にルート上を走行してマッピングを行うとのことであった。</p>	
11月9日	汚染土壌の仮置状況の現場確認	使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第四施設)北側、H1東タンクエリア東側、G6タンクエリア北側	<p>○一時保管エリアNにH4タンクエリアの汚染土が不適切に仮置きされていた事案が発生したことから、他の汚染土の仮置き場の管理状況について確認した。</p> <p>左記3箇所について確認したところ、仮置き表示、線量表示及び飛散防止対策が適切に行われていることを確認した。</p>	12時29分現在
11月10日	ガレキー一時保管エリアWの状況確認	ガレキー一時保管エリアW	<p>○ガレキー一時保管エリアW1及びW2の現況について、現場確認した。</p> <p>W1エリアには、プレス機の近傍に廃車両のボディ切断片やタイヤのホイール部分等が残置されていた。エリア東寄りには、金属製のコンテナが2段積みで保管されており、「可燃廃プラ」、「タイベック」等と手書きされていた。</p> <p>一方、W2エリアには、3段積みの金属製のコンテナ及びシートで養生されたフレコンバッグが保管されていた。コンテナには「ガレキ」、「エンジン」等と手書きされていた。</p> <p>現場で目視した限り、廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。</p>	11時39分現在
	ガレキー一時保管エリアQの状況確認	ガレキー一時保管エリアQ	<p>○ガレキー一時保管エリアQの現況について、現場確認した。</p> <p>保管物は8m3の車載型コンテナに収納されており、2～3段積みで保管されていた。当該エリアは比較的線量が高く、エリア入口の表示では「ガレキ類」と書かれていた。</p> <p>現場で目視した限り、廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。</p>	
	陸揚げされた燃料取扱機及びクレーンの状況について	物揚場	<p>○3号機オペフロへの燃料取扱機※1)及びクレーン※2)設置に先立ち、物揚場にてこれらの機器が陸揚げされている状況を確認した。</p> <p>東京電力の公表資料の内容に相違なく、燃料取扱機及びクレーンが物揚場に並んで仮置きされていることを確認した。</p> <p>※1 使用済燃料プール内で燃料を輸送容器に移す機器 ※2 輸送容器の搬入・搬出を行うための機器</p>	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。